

3月14日(月)

## ご自身の民を守られる

聖書朗読 出エジプト8：20～24

わたしはその日、わたしの民がとどまっているゴシェンの地を特別に扱い、そこには、あぶの群れがないようにする。それは主であるわたしが、その地の真中にいることを、あなたが知るためである。 出エジプト8：22

あぶは第四の災いでした。しかし、神様がエジプトにもたらす裁きからご自身の民を守られると約束されたのは、これが初めてのことでした。主はご自身が罪深い国にもたらした災いからご自身の民を守ることを選択されたのです。しかし時には、神様はその選択をされません。現に神様は最初の三つの災いの時には、イスラエル人がその被害をこうむることを許しました。しかしここで神様は線引きをされたのです。

私たちはあまりにも頻繁に、神様の子どもにはどんな危害も降りかかって来ないかのように話してしまいます。しかしイエス様は、試練や困難が私たちに多くあることを明言しています(ヨハネ15：20)。そしてパウロは私たちは誘惑されるが、それは私たちの能力で耐えられないほどのものではないと明言しています(Iコリント10：13)。

カナダにいる私の友人は、メールの最後を必ずこの言葉で締めくくります。「神様はある時には吹き荒れる嵐を落ち着かせてくださいます。ある時には嵐が吹くに任せて、そしてご自身の子どもたちの心を落ち着かせてくださいます。」真実です。私の友人はある時、採用試験に不合格となりました。雇用担当者は彼の信仰のゆえに彼を採用しなかったのです。主は採用されるように導くことはなさいませんが、彼が採用試験に挑戦し続けられるように力づけてくださいました。

キリストは、ご自身が通ったことのある以上に暗い場所には、  
私たちを導くことがありません。リチャード・バクスター

聖歌 472

祈り 主よ、私たちはあなたが私たちに試練や取り巻く悪から救ってくださることを祈ります。しかし主よ、その試練を私たちが信仰をもって乗り越えることがあなたの望みであるなら、私たちが耐え抜くことができるように強めてください。私たちのために十字架を耐え抜いてくださった方の御名により祈ります。アーメン。

## 今日の日

2022年3月14日～3月20日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

タイヤー・ソールズベリー  
オハイオ州 トレド

3月15日(火)

## 私は確信を手に入れた

聖書朗読 申命記1：26～33

主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。 エレミヤ17：7

障害物に直面したときの、あなたの自然な反応はどのようなものですか？ 私はこの物語の中でイスラエル人がしたことと同じようにしてしまいがちです。主が奴隷制から救い出して下さり、荒野の中でも、神様が選ばれた民に対して非常に誠実であった後でさえ、イスラエル人には神様を信じるのが困難な時がありました。彼らは約束された地にやってきて、自分たちが非常に大きな試練に向き合っていることに気付いたので。それは巨人です！

モーセは主にあつて強くあるようにと彼らを励ましたのですが、彼らの返答は「主は私たちを憎んでおられる」というものでした。神様が、ご自身がいかに誠実であるかを証明した後であるのに、なんと消極的な反応でしょうか。

懐疑的になって、試練に立ち向かうこともなく敗北を認めてしまう代わりに、私たちには確信を持つことが必要なのです。私たちの確信は、キリストにある自分たちのアイデンティティと、キリストが私たちを聖なる、非難されるところのないものとして選んでくださったという事実から来るものです。だれが私たちに敵対できるでしょう？ イスラエル人が学んだように、主が傍にいてくだされば私たちに恐れるものは何もないのです。イエス様にある確信を持って今日という日をスタートして行きましょう！

讃美歌 In Christ Alone

祈り 神様、あなたが誠実さにおいて偉大な模範を示して下さい感謝します。私たちが、あなたの偉大な愛に確信を持ってなんの恐れも抱かなくなるように祈ります！ イエス様の御名によって。アーメン。

アンナ・キャリー  
テキサス州 ラボック

3月16日(水)

## 問題のゆえに神を責める

聖書朗読 ルツ1：22

神は光であつて、神のうちには暗いところが少しもない。 Iヨハネ1：5

可哀想なナオミと同じ立場に立った人はどれだけいるでしょうか？ 彼女は幸せな結婚をして家を出ました。そしてやもめになって帰ってきました。彼女は二人の素敵な息子たちと共に家をでました。そして子どもを失って帰ってきました。彼女がベツレヘムを去った時、人々は彼女のことをナオミ（「快い」という意味）として知っていました。故郷に帰った時、彼女はこう言いました。「私をマラ（「苦しむ」という意味）と呼んでください」と。

悲しみは、私たちの誰をもこのように落ち込ませることが出来ます。私の親友のひとり——夫をあまりにも若いうちに失ってしまうまではいつも元気で、前向きな魂を持っていました——は、それから少なくとも三年間は家族に対して怒り、隣人に憤慨し、教会を批判する日々を過ごしました。ナオミと同じように、彼女は悲しみを怒りでコントロールし、そして長い間そこで行き詰っていたのです。

ナオミの苦しみは、神への不満という過ちを犯させました。彼女は神様を責めたのです。彼女は友人に「全能者が私をつらいめに会わせられました」（ルツ1：21）と言いました。あるいは他の訳では「全能者がわたしに災をくださった」（口語訳）。また別の訳では「全能者がわたしを不幸に落とされた」（新共同訳）と。

私たちはついナオミの不平を繰り返してしましますが、聖書は災いと死の権威者はサタンであり、聖霊は喜びをもたらす、神様はいのちを与えてくださる方であると語っています。私たちが神様を、暗やみの時の光として見るように祈れますように。

讃美歌 297

祈り 主よ、私たちはたとえ自分にとって最も暗い瞬間でも、あなたがそこいらっしやることを知っています。あなたを探し求められるように助けてください。イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ジーン・シェルバーン  
テキサス州 アマリロ

3月17日(木)

## 私は知りません

聖書朗読 I列王記19:10~18

求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。・・・天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがあります。

マタイ7:7、11

私たちは誰でも物理的にまたは心理的に、自分が何をしていたか、なぜそこにいるのか分からない場所にいる自分を見いだしたことがあるのではないのでしょうか？私たちはエリヤのように洞窟に隠れることはありませんが、しかし私たちがよく自身を孤立させることがあります。

神様がエリヤの気持ちを逸らそうとされた時、神様はいくつかの力強いことをされました。山から岩の塊を落とされ、大風を送り、火を送りました。しかし、エリヤが自分が何をしていたのか、誰が彼と共におられるか、自分がひとりぼっちではないこと、そして人々が彼の存在を切望していると気付かされたのは、岩の塊や火ではなく静けさでした。

私たち一人ひとりが、自分の影響範囲の中で誰かに必要とされています。それは自分の隣で生活している人かもしれませんし、郵便や宅配の配達人かもしれませんし、あるいは私たちが長い間会話もしなかった誰かかもしれません。私たちは静まって神様の臨在を知り、そして電話や、カードや、手紙、そして庭の柵ごしに手を振ることなどで周りの方々に手を伸ばしましょう。私たちはひとりではありません。

讃美歌 II 26

祈り 親愛なる天のお父様、私が隠れないように助けてください。分け与えていただいた光を輝かせる勇気を、私にください。

あなたの御子の御名によって、私たちは祈ります。アーメン。

コニー・パクストン・エドワーズ  
オクラホマ州 タレクヴァ

3月18日(金)

## 待っている間に何をするか

聖書朗読 ネヘミヤ1:2~5

主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心がご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。 II歴代誌16:9

待つということは、何もしないということではありません。人生の中での待つ時期には目的があります。ネヘミヤがエルサレムの城壁が崩されたという知らせを聞いてから、城壁の再建のために自分をエルサレムに送ってほしいとアルタシャスタ王に願うまでに四か月ありました。彼をこの使命を導く者として備えた四か月の間、ネヘミヤは何をしていたのでしょうか？

最初に、彼は数日の間泣きました。彼は普通に悲しむことから逃げませんでした。あまりにも心を乱されて、何も食べられないほどでした。彼は何日も祈りました。

ネヘミヤの祈りは、神様の親切で愛にあふれたあらゆる性質に対する信頼を表現していました。彼はイスラエル人の罪を告白し、彼らがどのようにねじ曲がっていて、神様の言葉を聞き入れなかったかを並べ立てました。彼は捕囚からの帰還について神様がモーセに語られた言葉を繰り返しました。彼は自分自身と自分の民が神様の御心を行なうことを約束しました。最後に、彼は自分を解放して城壁の再建に向かう許しを王に求める直前に神様に祈りました。彼はこの瞬間のために四か月も準備をしたのです。彼の準備、神様に向き直ったことは、素晴らしい結果をもたらしました。

讃美歌 520

祈り 親愛なる主よ、私たちが自分の壊れた場所を再建するために、あなたの方を見ることができるよう助けてください。そして待っている間に、私たちの信仰を強めてください。

イエス様の御名によって、私たちは祈ります。アーメン。

エリン・E・マケンドリー  
テキサス州 ミルサップ

3月19日(土)

## 神はどこにおられるのか？

聖書朗読 ヨブ23：1～10

まことに主は、ご自分の偉大な御名のために、ご自分の民を捨て去らない。主はあえて、あなたがたをご自分の民とされるからだ。 Iサムエル12：22

ある小さな男の子が、冒険といわずらの一日を過ごしていました。母親がついに途方に暮れて、男の子を落ち着かせるために「タイムアウト」\*をしました。彼女は自分の活動に取り掛かりました。\*良いというまで、座らせておくこと。

少し経ったあと、母親は息子を座らせたことをすっかり忘れてしまいました。その時、彼女は別の部屋から小さな声がするのを聞きました。「ママは僕のこと忘れちゃったのかな？」

神様が私たちのことを見捨てられ、私たちをひとりぼっちにされたのではないかと感じてしまうことは何度もあります。助けとなる神様がいてくれないように見えるので、私たちは自分が「やり遂げられる」かどうか疑います。

ヨブは人生の中で自分にとって意味のあるすべてのものを失いました。財産を、健康を、そして家屋を失ったのです。ヨブは友達に対して「私が前へ進んでも、神はおられず、うしろに行っても、神を認めることができない。」(ヨブ23：8)とさえ言いました。どちらを向いても、神様はそこにおられないように見えました。しかしそれでもなお、ヨブの信仰は強いものでした。「しかし、神は、私の行く道を知っておられる。神は私を調べられる。私は金のように、出て来る。」(ヨブ23：10)ヨブは神様が自分をご覧になっておられ、自分が問題と困難を乗り越えられるように助けてくださると信じていたのです。

試練の中で、私たちは神様はなぜなにもして下さらないのかと疑ってしまいます。私たちは、神様がおられると約束したその場所に必ずいて下さると安心してよいのです。神様は私たちと共におられます。

讚美歌 184

祈り 親愛なる主よ、あなたがいつもおられることを私たちが覚えていられるように助けてください。あなたが私たちの人生に介入して下さると知ることによって得られる平安を、私たちが持っているよう助けてください。イエス様の御名によって、私たちは祈ります。アーメン。

ポール・デアティ  
テネシー州 ナシュビル

3月20日(日)

## 神は復讐される

聖書朗読 詩篇3

愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをする、と主は言われる。」 ローマ12：19

「後悔することになるぞ！」一体何度、私たちは不当に扱われた時に復讐の脅しをしたり、あるいは脅しているのを聞いたりしたことがあるでしょうか？ 他人の手によって損失を被った時にそのような反応をするのは、人間として自然なことです。しかし、聖書全体を通じて私たちは、私たちが正義をふりかざして復讐を自分ですることを要求することが打倒でないことを示して下さっています。なぜでしょうか？ それは神様が、ご自身の時にはすべてのことを正しくして下さると約束しておられるからです。

詩篇3篇はダビデが自分の息子、アブサロムから逃げている時に書いたものです。ダビデの人生は楽なものであったことがありませんでした——しかしその人生はある確信によって保たれていました。神様が彼の盾であるということです。彼はそのことを、羊を守る若い羊飼いであった時に最初に学びました。彼の神様に対する深い信頼はゴリアテに立ち向かったときに肯定されました。完璧からは程遠かったとはいえ、それでもダビデは神様を信頼していたのです。

それでは、どうして彼は神様に敵の「歯を打ち砕いて」くれと願ったのでしょうか？ それは神様が物事を正して下さると、彼が信じたからです。自分で復讐を実行するより、むしろ彼は神様が正しいことをなさると信じたのです。私たちが誰かに傷つけられた時、自然な反応は自分自身で復讐することです。敬虔な反応はそれを神様にお委ねすることです。「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配して下さるからです。」(Iペテロ5：7)

讚美歌 296

祈り 親愛なる神様、苦悩と苦しみの時、私があなたに向き直れるように助けてください。私があなたを、あらゆる物事を正して下さる公正な裁判官としてより深く信頼することを学べますように。あなたは私の盾です。私はあなたを信じます。イエス様の御名によって、私は祈ります。アーメン。

アール・D・ラヴェンダー  
テネシー州 プレントウッド